

新型コロナウイルスワクチンの接種についての意見提出

変異株による新型コロナウイルス感染症の急激な拡大に伴い、国は、令和3年5月に愛知県を含む10都道府県に対して緊急事態宣言を発出したほか、三重県などに対して、まん延防止等重点措置を適用しました。

このような中、本市では、令和3年5月から65歳以上の高齢者を対象にワクチン接種を開始しましたが、市民の皆様からは、予約が取りづらいなどワクチン接種に関し、さまざまな声が寄せられていました。

そこで、本市議会では5月28日にワクチン接種の円滑な実施も含め、次の点に配慮していただくよう、正副議長と各会派代表者などから市長に対し意見を手渡しました。

提出した意見は、市議会ホームページ「トピックス」に全文を掲載しています。ぜひご覧ください。



市議会から市長への意見内容

1 高齢者などインターネットに不慣れな市民のために、予約のサポートおよびワクチン接種に関するさまざまな相談ができる窓口を地区市民センターなどに設置し、ワクチン接種の予約受付体制を強化すること。
また、ワクチン接種の予約受付とは別に、接種に関する質疑応答ができる専用電話の新設を検討すること。

2 ワクチン接種に対する不安を払拭するために、副反応や接種状況などワクチン接種にかかる情報については、市ホームページをはじめ、広報すずかや回覧板などを活用し、高齢者などにも分かりやすく丁寧に周知すること。

3 老人施設入所者や在宅療養の方などワクチン接種会場への移動が困難と思われる方のために、訪問接種など必要な支援策を検討すること。

4 貴重なワクチンを有効に活用するために、体調不良などにより、当日の予約キャンセルが出た場合のワクチンの取扱方針を定めること。

5 今後、ワクチン接種の対象者を65歳未満に拡大する際には、就業者やかかりつけ医を持たない方が多いことも予想されることから、電話や特にインターネットでの予約受付体制の更なる充実を図るとともに、企業内接種や休日・夜間に接種できる集団接種会場の拡充を検討すること。

6 今後、65歳未満の方に接種券を送付する際には、年齢別、地域別など、段階的に接種券を送付するなど、予約にあたり混乱が生じないような仕組みを検討すること。

7 今後、65歳未満の方の接種にあたっては、エッセンシャルワーカー（介護福祉士、保育士、教諭等）への優先接種を検討すること。

